

事業所名 はなえみ幼稚園 あみこ (児童発達支援)

支援プログラム

作成日 7年 1月 1日

法人(事業所)理念		子どもたちが、将来にわたって地域の人たちに愛され、幸せに過ごすことのできるための導きや支援を施します。			
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさとを愛し、自分のよさやもち味を生かしながら、情熱を持って学び続ける人材(職員)、社会に貢献できる人材(職員)を育成します。 ・ふるさとの自然や人との関わりの中で、一人一人のもつよさや能力を引き出します。子どもが自律と協調の本質的な意味を知る場を設けることで本人の困りごとを軽減し、他に頼るべきところは頼り、将来にわたって地域の人たちに愛されながら幸せに過ごすことのできるための導きを施します。 			
営業時間		[運営規定] 9時 0分から 18時 0分まで	送迎実施の有無	あり (往復とも)	これまでの実績(放課後等デイサービスを含む) 本荘地域、岩城地域、大内地域、由利地域、矢島地域、鳥海地域、東由利地域、西目地域、仁賀保地区、象潟地区
		保護者さまのご希望により、7時から19時まで対応いたします。			
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	<p>【目標】脳と体の両面から発達を促し、規則正しい生活習慣を確立します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽に合わせた体操を取り入れ、保護者や職員とのコミュニケーションを図りながら体に触れる刺激を与え、脳の活性化と体力向上を同時に促進します。 ・視覚的なスケジュール表を活用して「レッスンの流れ」を示し、時間の概念を理解させ、自ら生活リズムを管理できるよう支援します。 ・食事の栄養バランスや睡眠の大切さについて保護者に伝え、家庭でも脳の発達に必要な生活習慣を身につけられるようサポートします 			
	運動・感覚	<p>【目標】五感を刺激する多様な運動体験を通して、身体感覚と脳の発達を促進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「斜面のぼり」などの活動を通して、足の裏全体を使った歩行訓練を行い、前庭感覚を刺激して脳と体の協調性を高めます。 ・「ひもとおし」など両手を使った細かな作業を提供し、利き手と非利き手の分業を促し、手先の器用さと感覚統合能力の向上を図ります。 ・「ボール遊び」を取り入れ、前だけでなく横や後ろからの刺激にも反応できるよう、空間認知能力と平衡感覚を養いながら全身運動を楽しみます。 			
	認知・行動	<p>【目標】記憶力・思考力・判断力に影響する前頭前野を鍛え、自発的に考え行動する力を育てます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鏡を使った活動を取り入れ、観察力や目と手の協応性を養いながら、ワーキングメモリを鍛える機会を提供します。 ・「なぜ?」「どうして?」という疑問を大切にし、自然体験や遊びを通して、論理的思考力を育てます。 ・ストーリーをつまんでケースに落とすなど、集中力を要する活動を通して、自発的に考え、問題を解決する力の土台を築きます。 			
	言語コミュニケーション	<p>【目標】豊かな語彙と表現力を身につけ、相手の話を理解し自分の考えを伝える力を育てます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ペープサート」を使った紙人形劇を通して、注意深く観察する力と言語理解力を育て、語彙力と言語感覚を豊かにします。 ・レッスン中の「ご挨拶」の機会を活用し、適切な言葉遣いや表情、姿勢など、聞き手を意識したコミュニケーションの基礎を身につけます。 ・親子でのコミュニケーションを大切に活動を通して、言葉のイメージ力と理解力を深め、自信を持って表現できる力を育みます。 			
	人間関係社会性	<p>【目標】協調性と自己表現のバランスを取りながら、円滑な人間関係を構築する力を育てます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員と一対一と向き合い、同じ発達段階の子どもたちとの関わりの中で、役割分担や協力することの大切さを体験的に学びます。 ・親子で参加するプログラムを通して、家族との良好な関係性を築き、情緒の安定と社会性の基礎を育みます。(保護者が参加できない場合は、保護者役の職員) ・講師からの適切な働きかけを通して、相手の気持ちを想像し、適切なコミュニケーションの取り方を練習します。 			
家族支援		家族の時間的・心理的負担を軽減するため、施設での柔軟な利用体制と成長を促す支援を提供します。密な情報交換を通じて家庭での様子を共有し、保護者が安心して仕事や家事に取り組める環境づくりをサポートします。	移行支援	本人の考えや意思決定を尊重しながら、児童や家族の状況や移行に向けた取り組みの共有、連絡調整を移行先施設との間で行うことで、新たな居場所への橋渡しを行います。	
地域支援・地域連携		地域の一員としての自覚をもつ機会を提供し、学校などの教育機関との定期的な情報共有により一貫性のある支援体制を構築します。また、関係機関との連携強化により効果的な支援ネットワークを形成し、お子様が地域社会で健やかに成長できるよう支援していきます。	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・支援会議(毎日)、虐待防止委員会・安全委員会(毎月)において具体的な支援方法、技法について話し合う場を設けています。 ・多角的な発達支援を目指し、療育、医療、福祉、教育など様々な分野での研修に参加し、包括的な支援体制の構築を目指しています。 	
主な行事等(実績)		お誕生会(各月、施設ごと)、クリスマス会、調理実習(昼食、おやつ、プレゼント)、避難訓練(地震、火災、不審者)自然体験(象潟海岸、本荘マリーナ、赤石浜、子吉川河川敷など)、施設体験(フェライトこども科学館、白瀬南極探検記念館、動物園、水族館、ふるさと村、消防署、道の駅など)、はなえみワクワクおはなし会(地域公開行事)、マスキングテープアートを作ろう(地域公開行事)、ウォーターバトル、くもん式学習保護者会 など (※放課後等デイサービスを含む実績)			